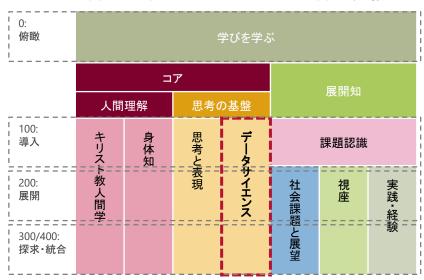
## 検討体制及び検証体制



■ 全学共通科目の改編と「データサイエンス」科目群の位置づけ

新たな時代に対応した生涯学び続ける学力基盤を育み「自律した学修者」を養成することを目的に全学共通科目の大幅な刷新を目指し、令和元年度より検討を開始。その一環として「データサイエンス」科目群を主要な柱の一つに設定。

■ 全学共通科目基本コンセプト(レベルと科目群構成)



科目群の名称		科目群の目的
쿠	人間理解	人間とは何かを探究する
	キリスト教人間学	上智大学の教育精神を理解する
	身体知	身体を意識し、身体から人間を理解する
	思考の基盤	生涯学び続ける基本となる「知の技法」を身につける
	思考と表現	クリティカルシンキング(批判的思考)と表現力を身につける
	データサイエンス	データを読み解き、活用する力を身につける
展開知	課題認識	課題の存在に気づき、様々なアプローチの必要性を理解する
	社会課題と展望	課題の理解を深め、将来の展望を描く
	視座	様々な学問的アプローチを理解する
	実践•経験	キャンパスの外に出て、国内外の現場で学ぶ

## ■ データサイエンス科目群(「データサイエンス概論」)検討体制の変遷

#### 構想段階 令和元年6月~3年3月

● 検討・検証組織

名称:データサイエンス関係科目検討分科会 座長:伊呂原隆(学事センター長)

● 統括組織

名称:基盤教育検討ワーキンググループ 位置:法人・大学の長期計画体制の下 座長:大塚 寿郎(学務担当副学長)

#### 準備段階 令和3年4月~6月

● 検討・検証組織

名称:データサイエンス分科会 座長:伊呂原隆(学務担当副学長)

● 統括組織

名称:新教育体系移行準備委員会

位置:学長の下

座長:伊呂原 降(学務担当副学長)

#### 実働段階 令和3年7月~

検討・検証組織名称:データサイエンス領域領域長:倉田 正充(経済学部経済学科・准教授)

● 統括組織

名称:基盤教育センター 位置:学長>学務担当副学長の下

センター長:大塚 寿郎(文学部英文学科・教授)

# 検討および検証の経緯と今後の予定



## ■ 検討および検証の経緯 ※表中[]はPDCAサイクルの段階

令和元年6月	データサイエンス関係科目検討分科会設置	「データサイエンス概論」科目内容などの検討開始	[P]
令和2年4月	全学共通科目の選択科目として「データサイエンス概論」開講	※ クォーター開講・1単位×2科目を開講	[D]
令和2年7月	同科目で学生アンケート調査実施		[c]
令和2年8月	同結果をデータサイエンス関係科目検討分科会にて検証		[c]
令和2年9月~	令和3年度「データサイエンス概論」内容見直し		[A][P]
令和3年3月~4月	企業への意見聴取実施		[c]
令和3年4月~	全学共通科目の選択科目として「データサイエンス概論」開講	※ セメスター開講・2単位×1科目を10コマ開講	[D]

## ■ 今後の検証体制・予定

# 令和3年4月~6月 ● 「新

## 新カリキュラム実施準備段階

- ●「新教育体系移行準備委員会」下の「データサイエンス分科会」で「発展科目」等の継続的検討
- 7月以降の新体制への移行準備作業

#### 令和3年7月~

### 新カリキュラム実働段階

- 「基盤教育センター」下の「データサイエンス領域」でPDCAを運営。
  - ✓「データサイエンス概論」受講者アンケートの実施、検証、カリキュラム改善
  - ✓ 発展科目の協力企業などを通じた、科目内容や単位修得者に関する外部評価の実施、検証、カリキュラム改善
  - ✓ 発展科目群の整備による、MDASH応用基礎レベルの検討、実施
- 全学共通科目全体のPDCAサイクルは上位の「基盤教育センター」で運営。 全学的な質保証体制におけるPDCAサイクルにも乗せ、全学的な視点からの検証も実施する予定。

#### 令和4年4月~

#### 新カリキュラム運用開始

● 全学共通科目の必修科目として「データサイエンス概論」開講 ※ セメスター開講・2単位×1科目を約20コマ開講(英語科目含む)